

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞〔再利用・再生利用部門〕
受賞者	株式会社鴻池組大阪本店 (仮称) 枚方市茄子作物流施設計画
受賞テーマ	リユース「杭発生汚泥の自ら利用」

【取組概要】

現場は、枚方市と交野市にまたがる敷地で、発注者が産業廃棄物処理費用を抑制できないか、との意向で、「建設汚泥の自ら利用に関する指導指針」に則り、既製杭工事によって発生する建設汚泥を再生処理（改良）し、処理後物（改良土）を基礎地中梁の埋め戻しに自ら利用した。

<自ら利用できた条件>

- ①発注者が望んでいたこと（産廃処理費用を抑制しコストダウンが図れる）
- ②発注者が工事完了後も建築物の所有権を保持すること（所有権移転の予定がないこと）。
- ③延べ床面積が 10,000m²以上であったこと。
- ④再生処理土を保管する敷地内ヤードがあったこと。

（1）建設汚泥の自ら利用

再生処理にあたり重機（バックホー）のみの処理では均質な品質確保が困難と考えられるため、リテラによる機械的混合を実施した。処理後物の品質確認試験としてコーン指数の試験を4回実施した（200m³毎 かつ 1日1回）。処理後物の有害性の判定として土壤汚染対策法規則による土壤分析を1回実施した（1,000m³ごとに1回）。

とくに、大阪府における「建設汚泥の自ら利用に関する指導指針」を用いた建設汚泥の有効活用は、ほとんど前例のない状況であったため、関係機関（大阪府、枚方市）と調整を行い実施した。

<リユース>

- ①建設汚泥（建設汚泥処理土）：756m³

<その他>

- ①現場内利用により産業廃棄物運搬用大型ダンプの運行を削減し、CO₂排出量を削減

【評価ポイント】

- ・杭工事の建設汚泥を、基礎地中梁の埋め戻し材として活用
- ・大阪府「建設汚泥の自ら利用に関する指導指針」に基づく自ら利用



移動式改良機による改良土の状況



大阪府（交野市）・枚方市にまたがる調整等を実施